



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

医療安全学／特定行為実践

共通科目



5.③特定行為実践のアウトカム

演習（1）

岡山大学 保健学研究科 臨床応用看護学領域

急性重症患者看護専門看護師 / 特定行為実践看護師

北別府孝輔 氏

医療安全学／特定行為実践

特定行為実践のアウトカム 演習（1）

岡山大学 保健学研究科 臨床応用看護学領域 助教
急性重症患者看護専門看護師 / 特定行為実践看護師
北別府孝輔

本日の学習目標

- ・ ドナベディアンモデルを参考に、選択した特定行為における医療の質（構造・過程・結果）を検討することができる。

演習の方法

- 特定行為研修を修了したのち、自身が積極的に実施するであろう特定行為を3つ選択する。
- 「構造」「過程」「結果」のそれぞれに何が改善可能かを**具体的に列記し、あわせて評価指標も検討**する。
- 作成した資料と内容を指導者および看護管理者にプレゼンし、さらに分析を深める。

60分検討

演習の方法

(演習ワークシート)

※評価指標は考え得る限り「具体的」に記述する。

※枠は自由に足しながら、自身の研修終了後の活動指針になるように作成してください。

選択した特定行為①：()	
構造	評価
・ ・ ・	・ ・ ・
過程	評価
・ ・ ・	・ ・ ・
結果	評価
・ ・ ・	・ ・ ・